

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

評 価 日 令和 4 年 3 月 2 4 日

団 体 名	大人と子どもの青空カフェ		
事 業 名	青空カフェ事業		
対 象 経 費	70,559 円	支 援 金 交 付 対 象 経 費	70,559 円
支 援 金 額	52,000 円		

事業の目的・内容	目的
	本事業は、公園のような自然の中で親子の居場所や育児の情報交換や交流の場を必要としている親子の声に答えるため、主な活動の場を佐久市内の公園とし、佐久市の素晴らしい自然環境の中で、子どもは五感をフルに活用しながら遊び、大人も楽しくゆったりと過ごしながら人との繋がりを広め、また情報をえる機会となる、そんな場と時間の過ごし方を提供することを目的とする。
事業の目的・内容	内容
	●対象：主として未就園児及びその親、妊婦、不登校児及びその親、シニアの方も。 ●実施時期：カフェ月1回、ワークショップ又等1回 ●場所：佐久市内の公園等の屋外を主とする（冬季は、公民館の部屋も併用して開催予定） ●規模：1回あたり未就園児を主とする親子10組、大人単身参加10人程度 ●告知方法：紙ごみを出さないために告知はSNSをメインとし、すでに知っている方からの口コミやシェアにより広めていただく。

事業の活動実績	開催実績
	4月長野牧場 参加者 親子8組 大人のみ5名（3世代での参加あり） 5月宇とう公園 参加者 親子5組 大人のみ3名 6月中嶋公園 参加者 親子10組 大人のみ5名（男性3名の参加あり） 7月サウラサク小径 参加者 親子12組 大人のみ5名（東京からの参加者あり） 9月中止 10月中嶋公園 参加者 親子12組 大人のみ7名 11月県立武道館 参加者 親子6組 大人のみ3名 12月県立武道館 参加者 親子10組 大人のみ3名 1月中止 2月中止 3月城山公園 参加者 親子8組 各回、絵本を配置したり、クラフトもできるように用意をしたり、外遊びが慣れない親子も楽しめるように工夫をしました。また、新規就農した農家さんの有機無農薬の野菜販売や移住後に事業を始めた方の無添加食品の販売や卵・乳製品・小麦粉を使わないお菓子の販売（こちらはアレルギーを持つお子様の親御さんに特に人気でした）も共同で企画し実施しました。



写真①



写真②

別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業の成果・効果	毎回必ず参加する親子だけでなく、久しぶりの参加があったり、新しい出会いがあったり、参加者間同士で新しい繋がりができたり、それだけでなくマレットゴルフをしていたシニアの方達やお散歩に来ていた保育園児とその保育者とのふれあいがあったりと私たちが想定していた以上に色々な繋がりができる場となりました。 参加者からは、特にコロナ禍ということもあり「ずっと巣篭もりしてたから、同じ子育て中のお母さんたちと話せて新鮮だった」という感想があり、子育て中の方にとって心休まる時間になっていました。また、年度途中で仕事を始めることにした親御さん（お子さんが2ヶ月の頃から参加）からは、仕事復帰前の相談を受けるだけでなく、「移住後どこにも繋がりがなかった中で青空カフェに出会えて救われました」という言葉があったり、みんなでお子さんの育ちを見守ることもでき、私たちにとても思い出深い出会いとなりました。 参加した方々から毎回のよう「この活動を、場をつくってくれてありがとうございます」とお礼のお言葉を頂き、子を持つ親たちや妊娠中の方にとって意味のある場であることを実感することができました。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 <u>概ねできた</u> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 コロナ蔓延防止等重点措置の発表により積極的に広報することが難しく、また、冬季期間中の室内での開催はできない月もありましたが、公園での開催は概ね開催することができました。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 <u>できた</u> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 少しずつではあるものの、初めて来てくださる方が最低毎回1組は参加があったり、偶然出会った方の参加があったりと嬉しい繋がりもありました。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 <u>多少の変更があった</u> 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） コロナ蔓延防止措置の発表により、また佐久市内での感染状況を鑑み、活動を中止せざるを得ない月があったため、会場借上料が減額となった。その代わり開催できるときの充実を図るため消耗品を予定より多く使用することとなった。
	その他、評価すべき点等	コロナの蔓延により開催できない月もありましたが、その中でも自分たちができることは何か考えオンラインでのカフェ開催や、販売できなかった野菜のドライフードの試作を試みたり、海外に移住した仲間（助産師）ともZoomで繋ぎ引き続き共に活動するなど新しい取り組みを試みたりすることで、次に繋がっていく活動も進めることができた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	○周知方法について／参加者の口コミで広がりはあったものの、やはり佐久市内の20代30代のSNS利用率の低さを改めて知ることができた（移住者は利用率が高い）ので、私たちがいい広報の工夫をしていこうと考えています。 ○公園で開催する青空カフェ事業は、引き続き佐久市内の四季を感じることができる公園をメインとして開催をし、野遊びの専門家などとのコラボレーションもしながら大人も子どもも自然との関わりを楽しめる場であり、かつそこに来ればちょっと良い何かに出会える可能性のある場をつくり続けて行きます。
---------	--